

運命でないというならば、 なんだと言うのか？

Fate/Grand Order Unofficial Fanbook アマテウス×サリエリ

R18

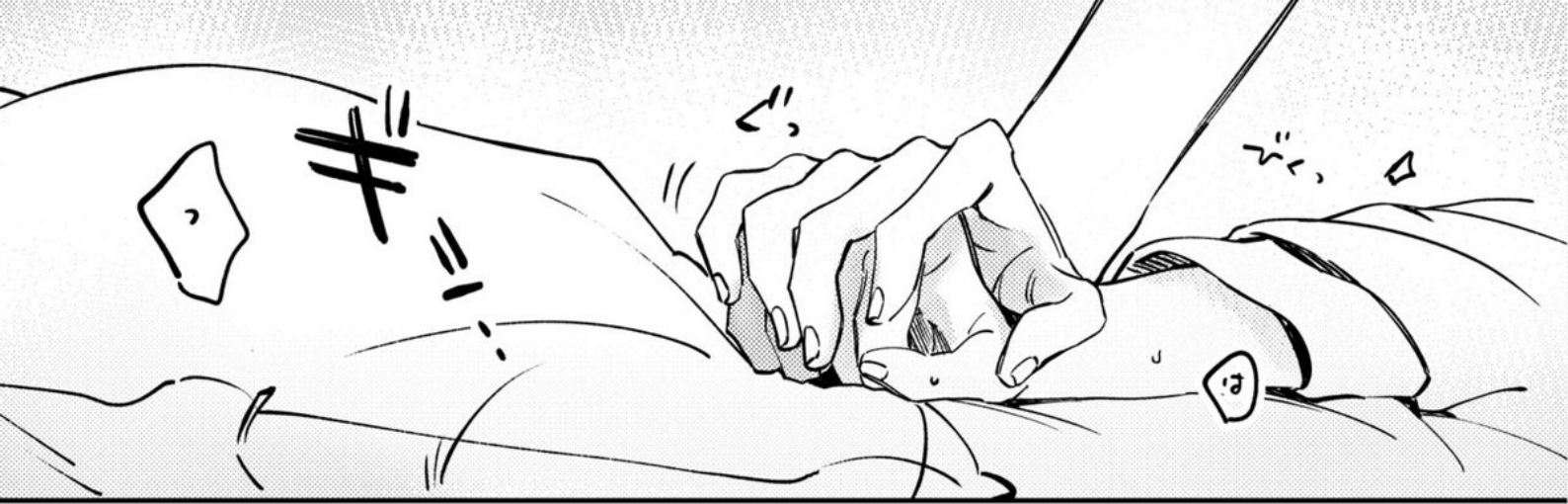




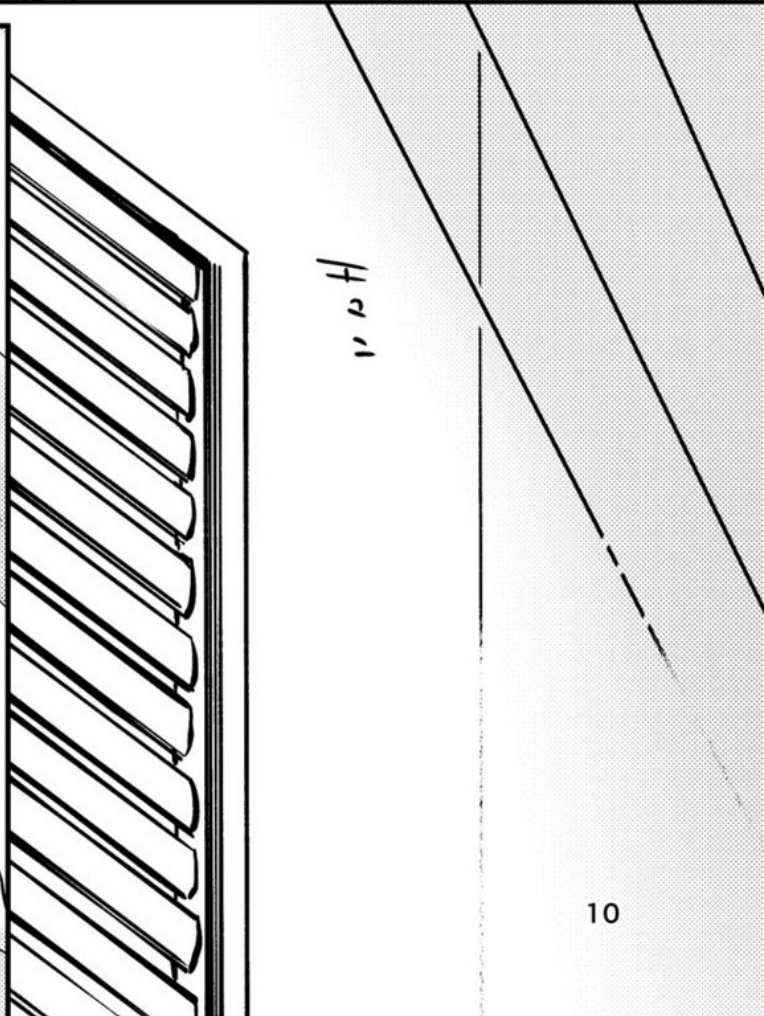
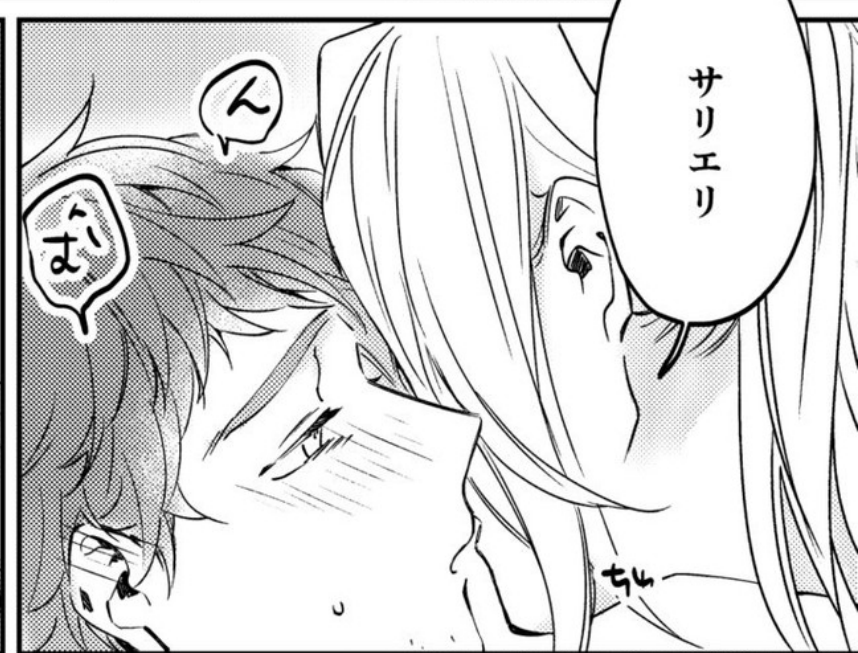
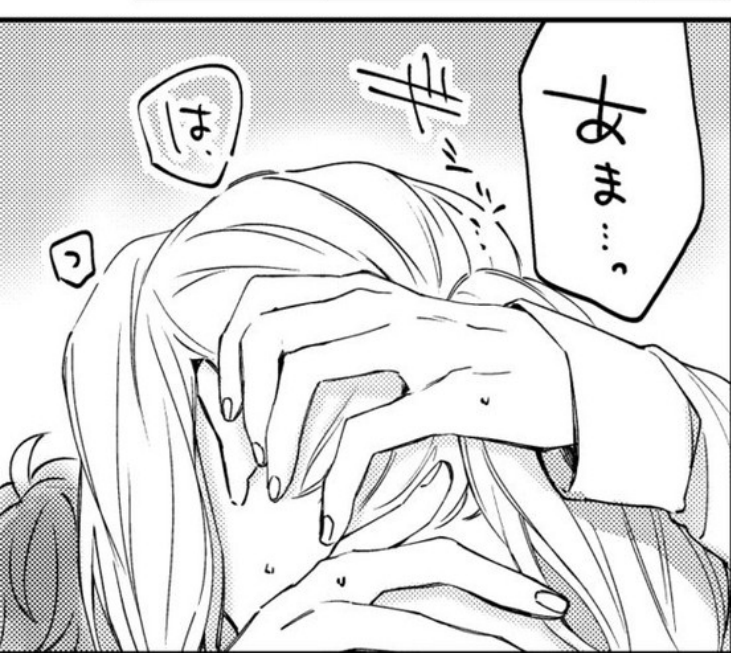
無断転載・複製・複写
インターネット上への掲載
(SNS・ネットオークション・フリマアプリ含む)
禁止です。

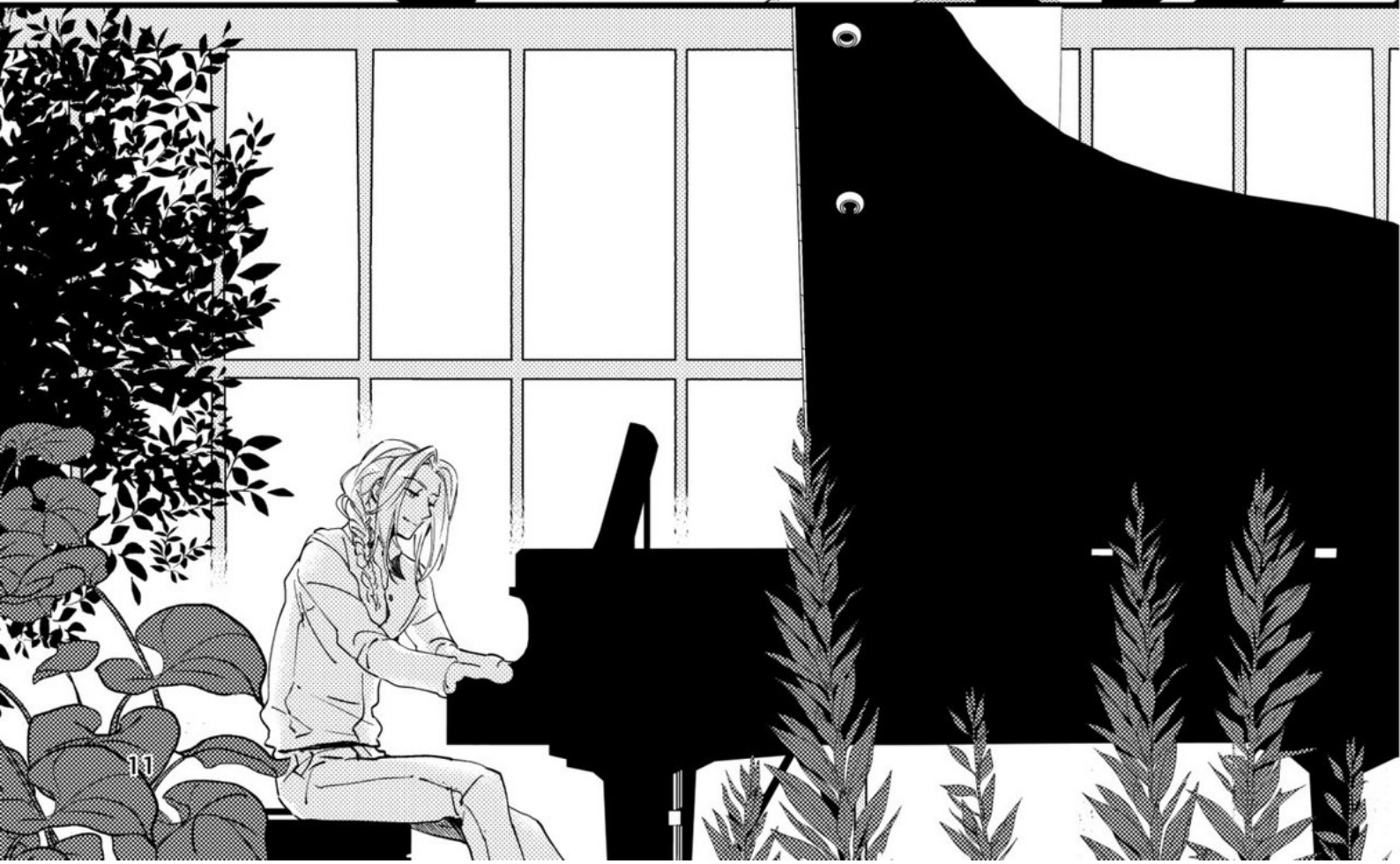
こちら二次創作作品です。公式とは一切関係ありません。
すべて描き手の妄想による作品です。

こちらの本はR18になります。
18歳未満(高校生の方も含む)の
閲覧・ご購入は固くお断りいたします。



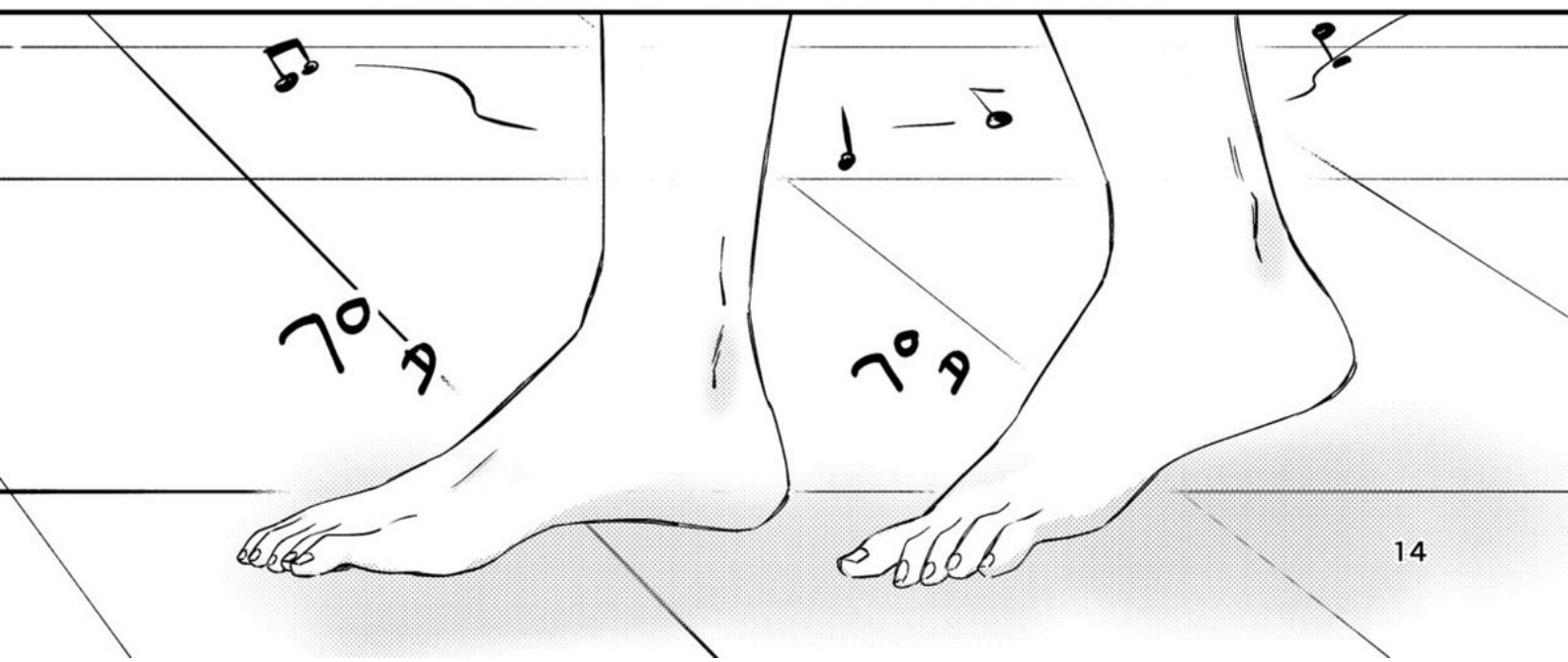














アマデウス……



わっ

今のは新曲か…？
もう一度最初から……



ブラーヴオ！

アマデウス！
なんてすばらしい……！



それは
またあとで

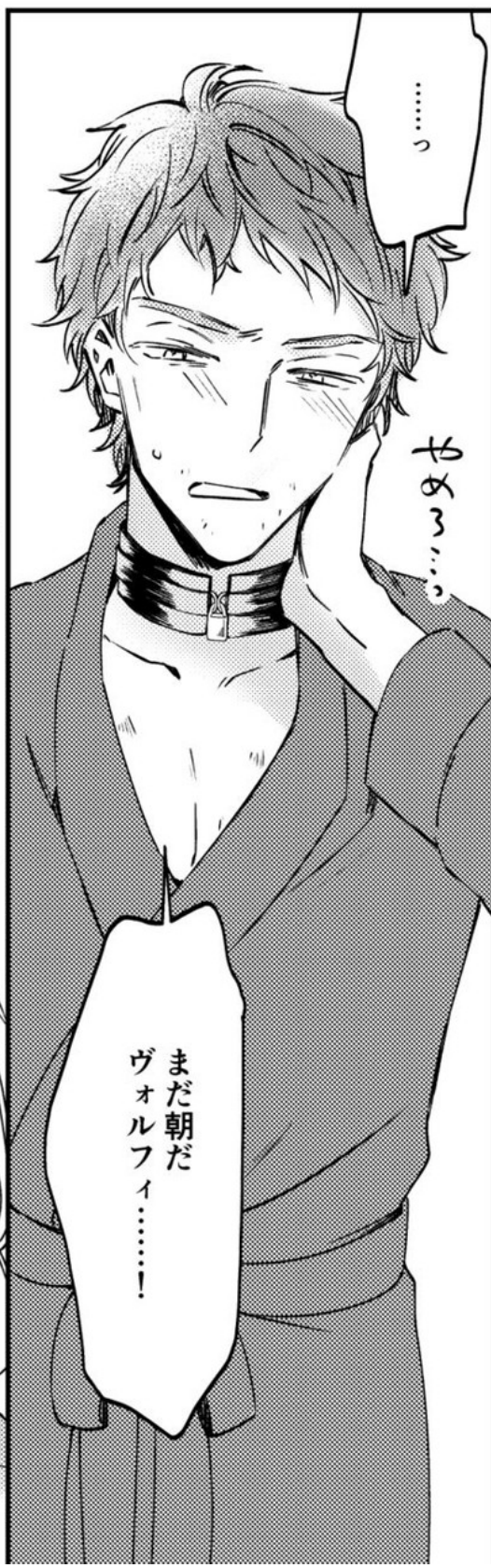
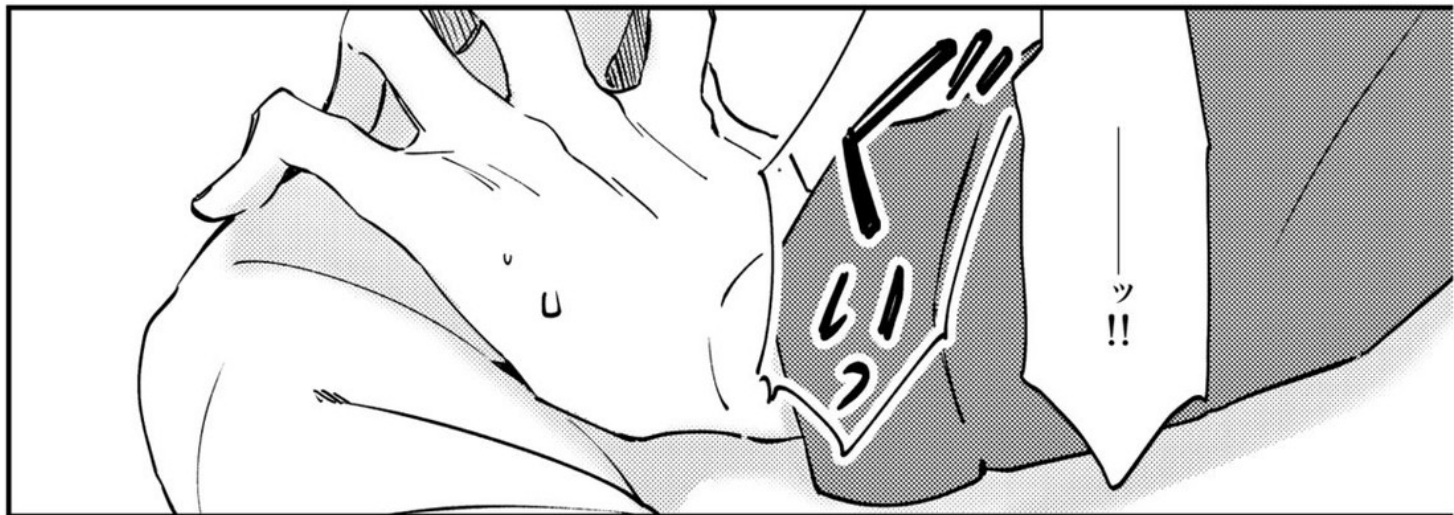


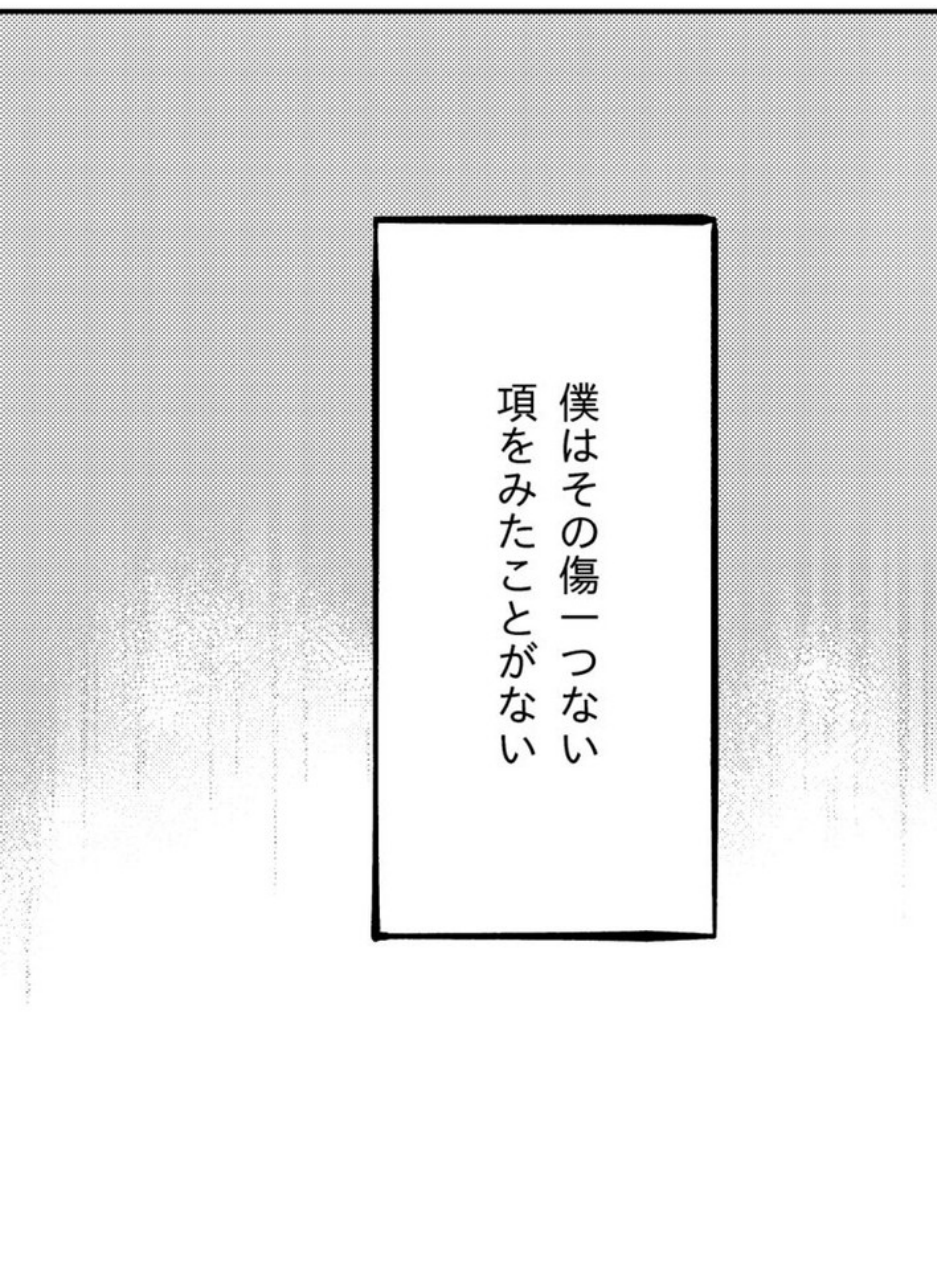
サリエリ……

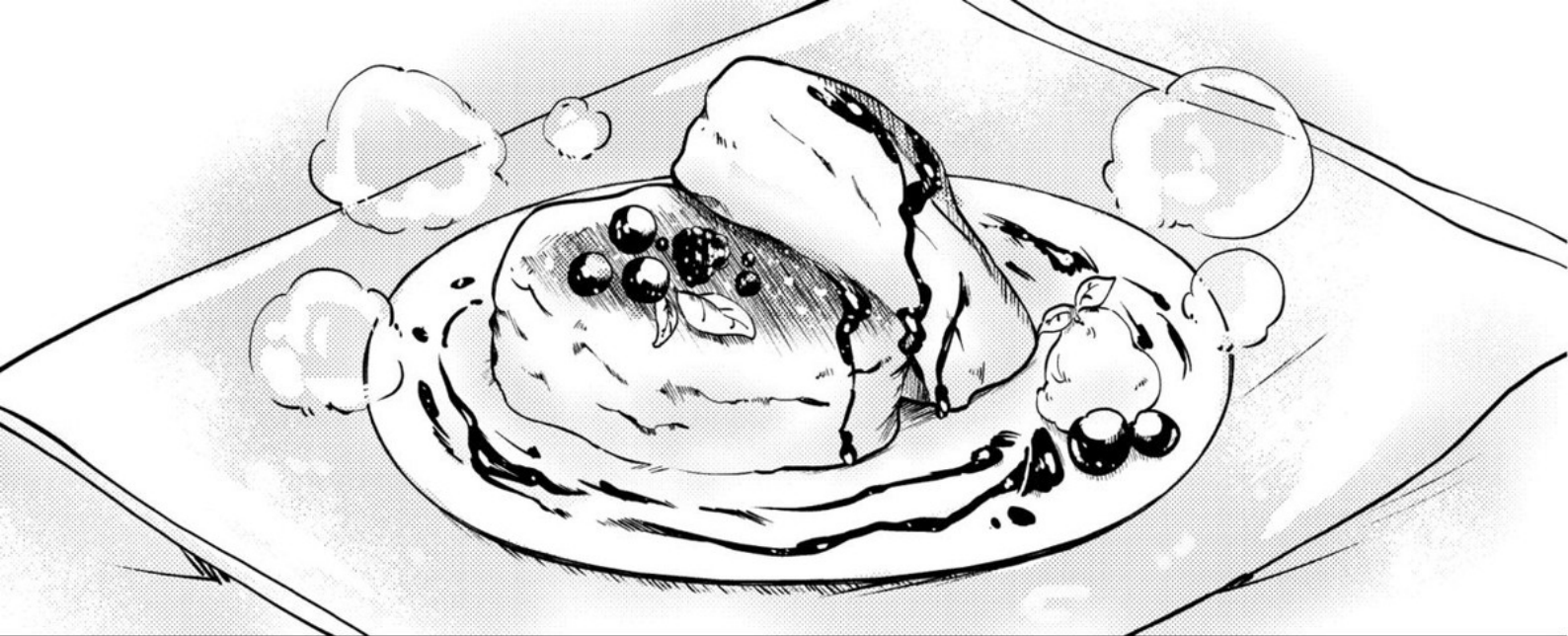


あま……っ

……ッ！









噂だよ
うわさ

?



……ねえ
知ってる?



サリエリ先生は
αの若い愛人を
囲ってるって

あつはつは
大丈夫?
はい水



あながち間違いでも
ないしね?

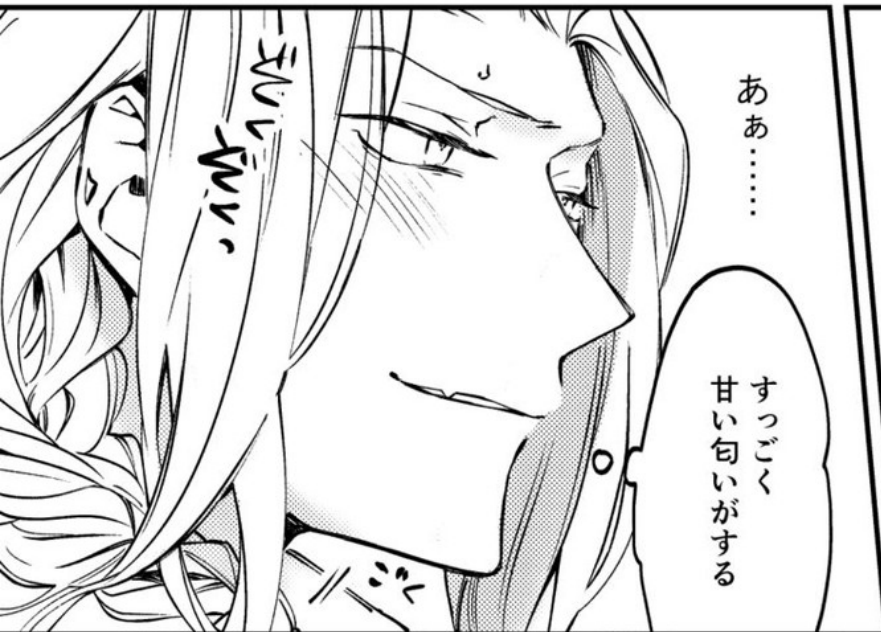
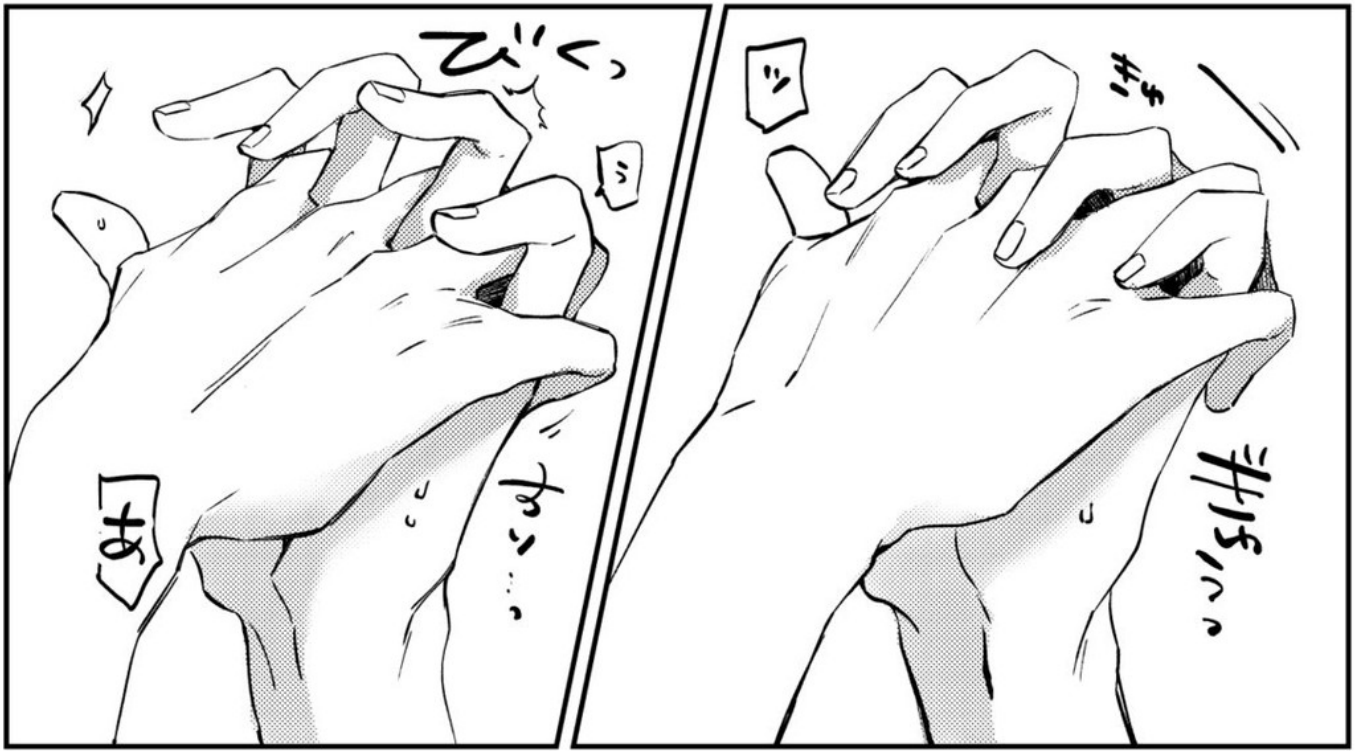


でもさ



なんだって
そんな噂が……

大丈夫だ



すっごく
甘い匂いがする

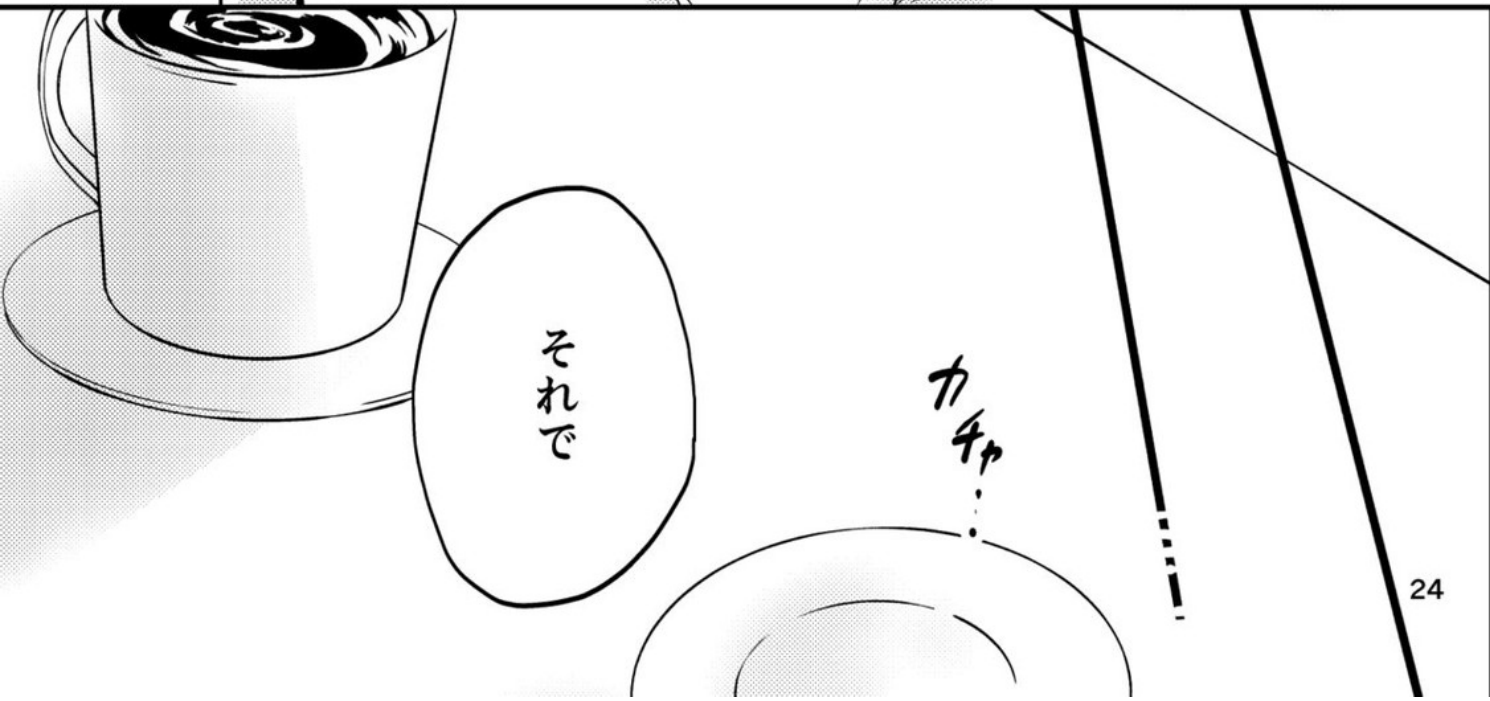
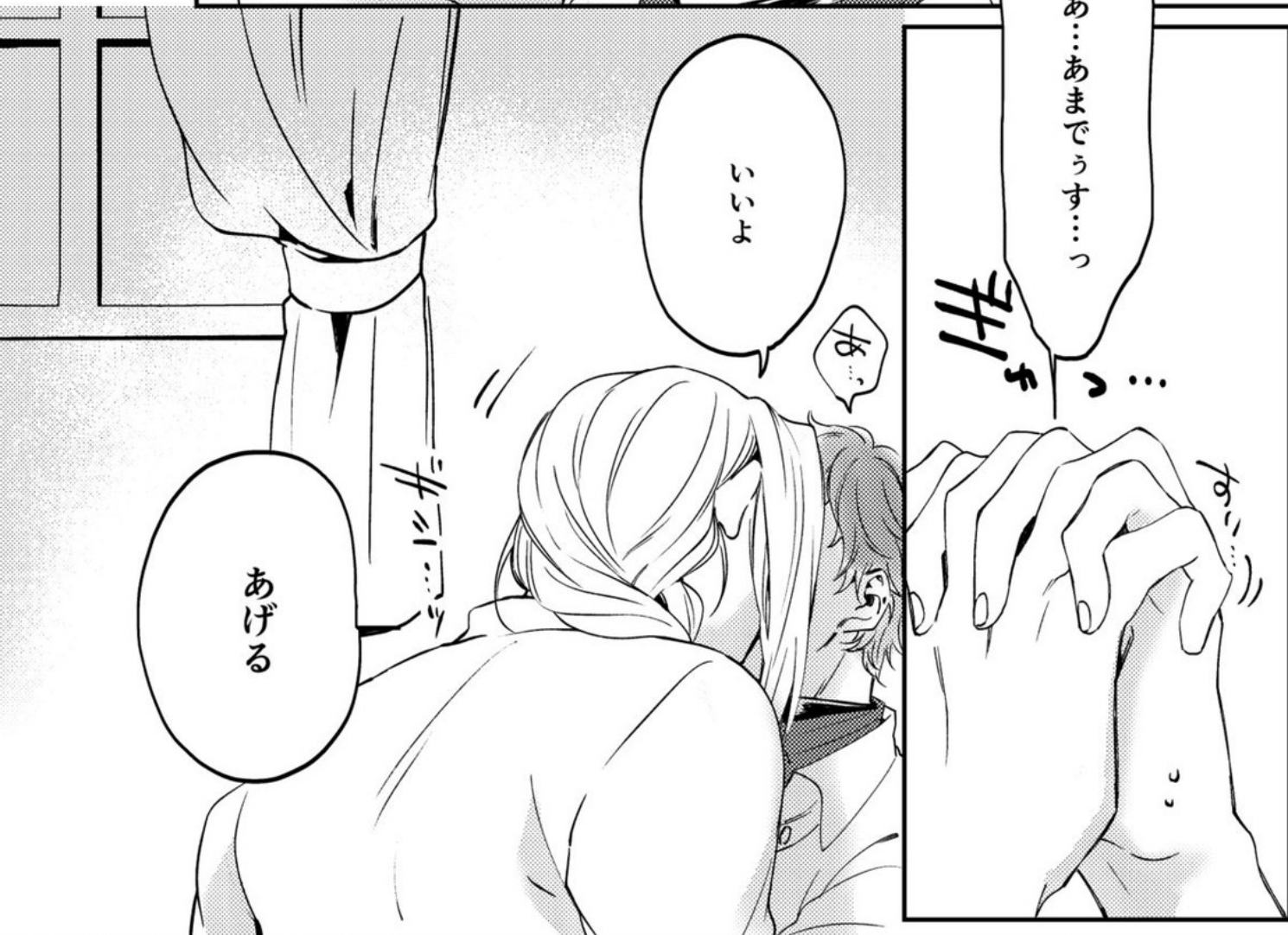


サリエリ

サリエリは不安定だ









音楽家よ

俺に何か
用か？

……その呼び方
やっぱ覚えてるんだな



っていうか

今はそんなんじや
ないんだからそれ
やめてくれよ

くはははは！
何を言う



形をいくら
変えようと

その魂に刻まれた
あり方は変わるまい

たとえ、記憶を
持たずとも

違うか？

そんなこと

ふいっ

言われなくても
わかってるよ

そうか

それは余計な
ことをした

っていうか
そうじゃなくて

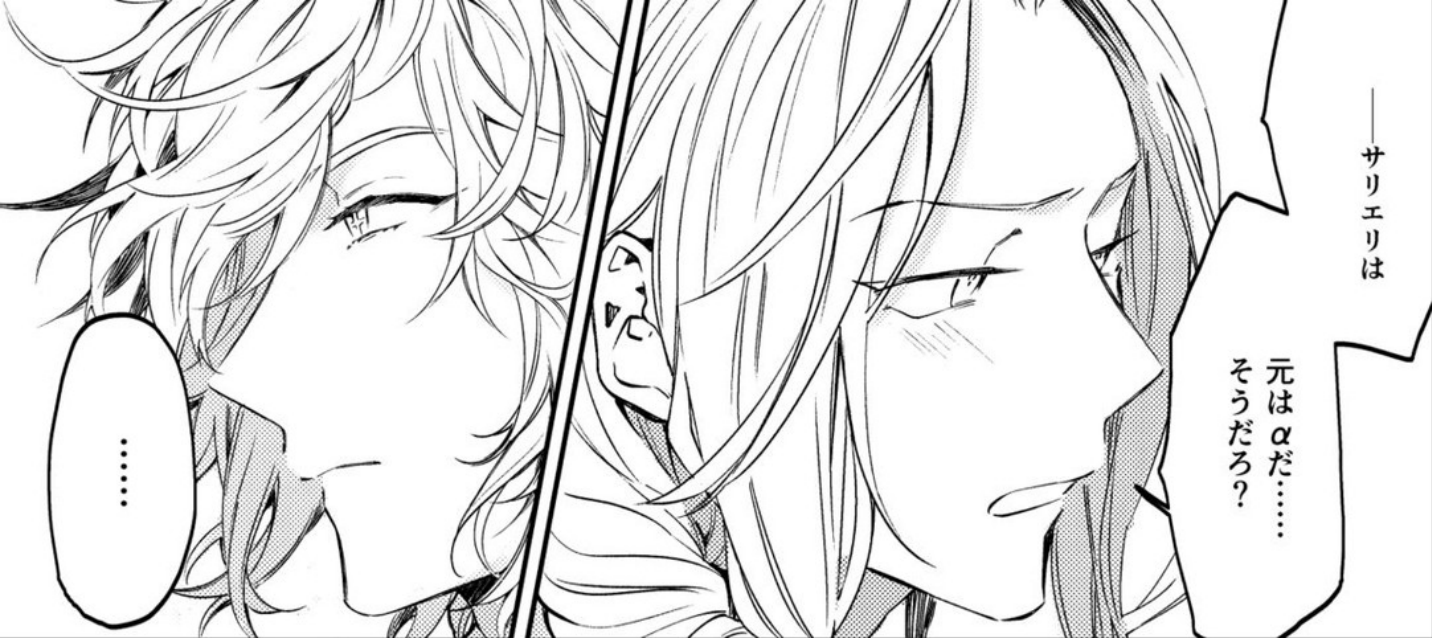
僕が聞きたいのは

それならわざわざ聞かずとも
知っているだろう

サリエリのバース性
についてだ……！

かちゃ……

他人の性について
触れるのは関心しないな



——サリエリは

元はαだ……
そうだろう？



こんなこと
誰でも知ってる

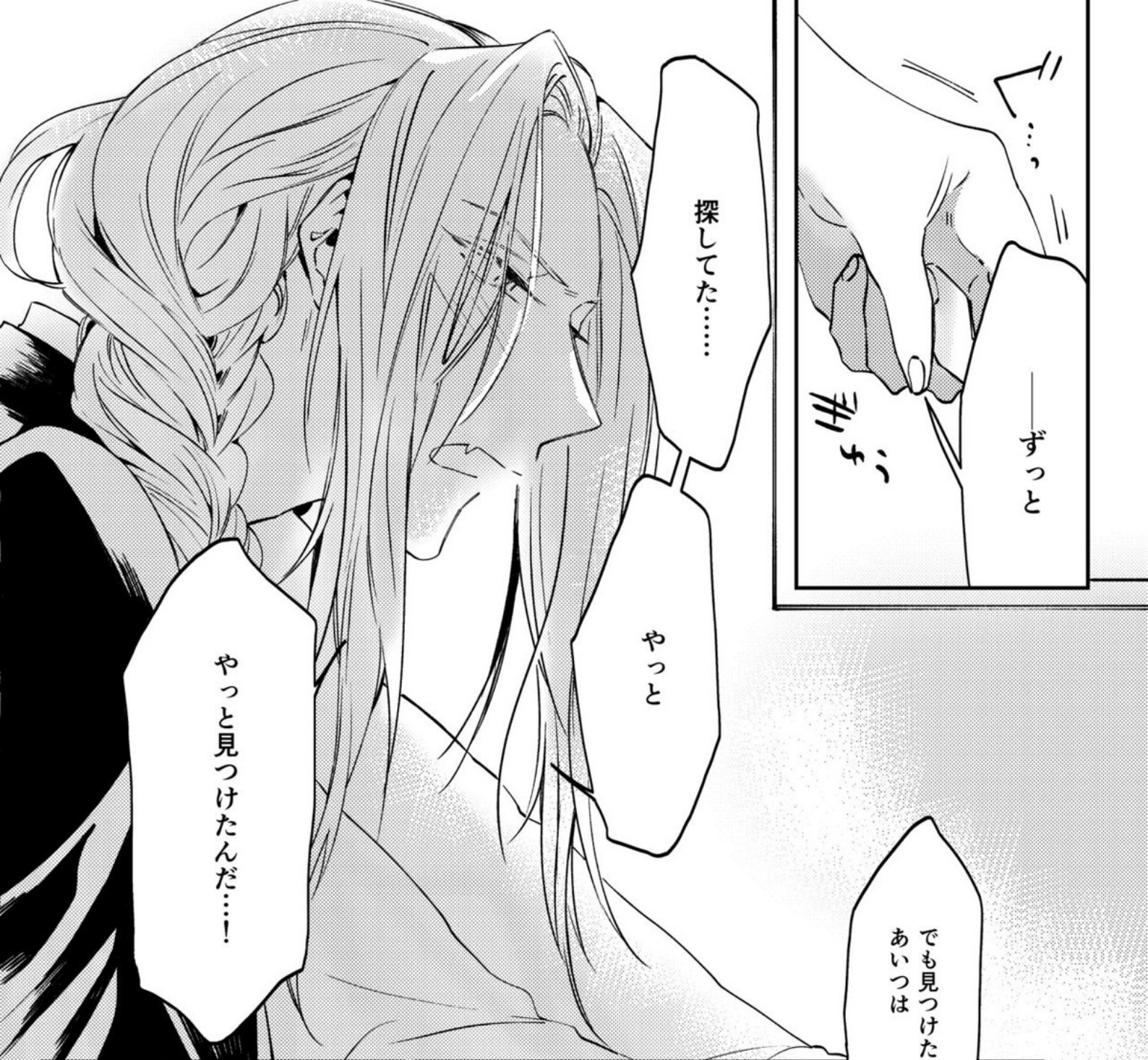
わざわざ調べたり
しなくてもね



アントニオ・サリエリは
今の音楽界における
優れた指揮者で

そして

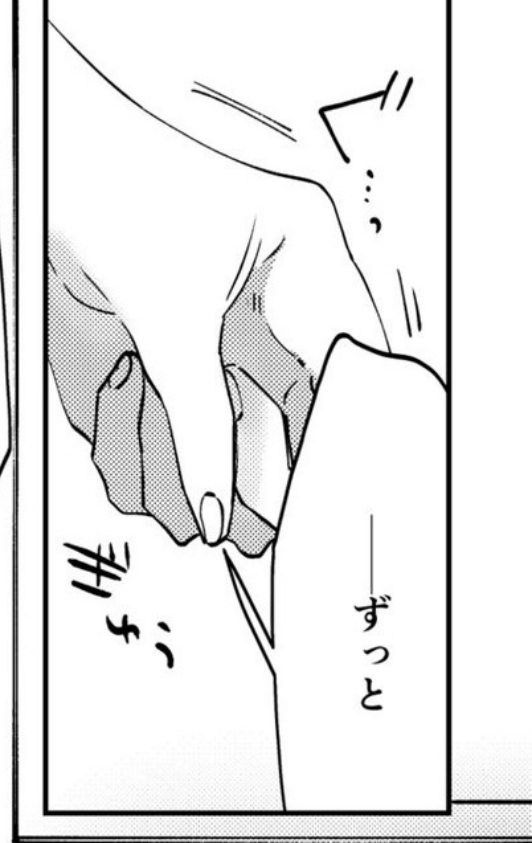
突然音楽界から
姿を消した



探してた……

やっと

やっと見つけたんだ……!



ずっと

でも見つけた時には
あいつは



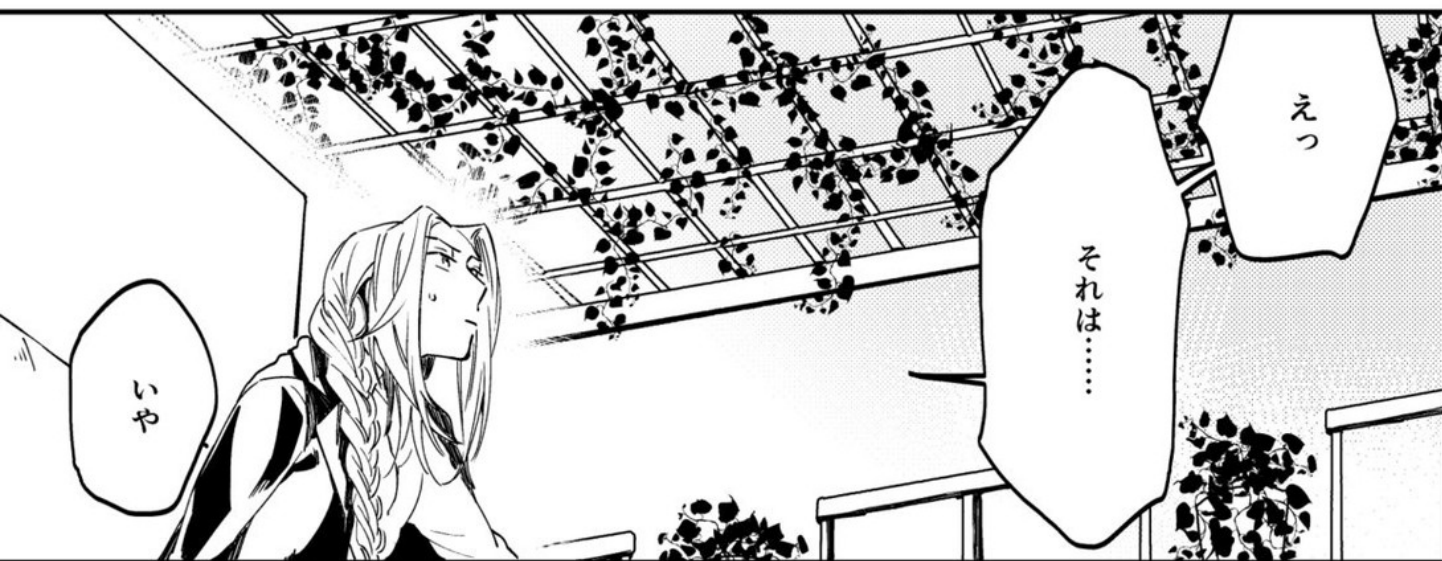
サリエリのバース性が
変わったのはやっぱり……



Ωだった



…知ってどうする



えっ

それは……

や



やめておこう

馬に蹴られては
かなわん

ひとつ

……

アドバイスを
くれてやろう

は？

アレに正直に
話すことだ

何もかも

知っての通りアレは少々
突っ走るところがあるからな

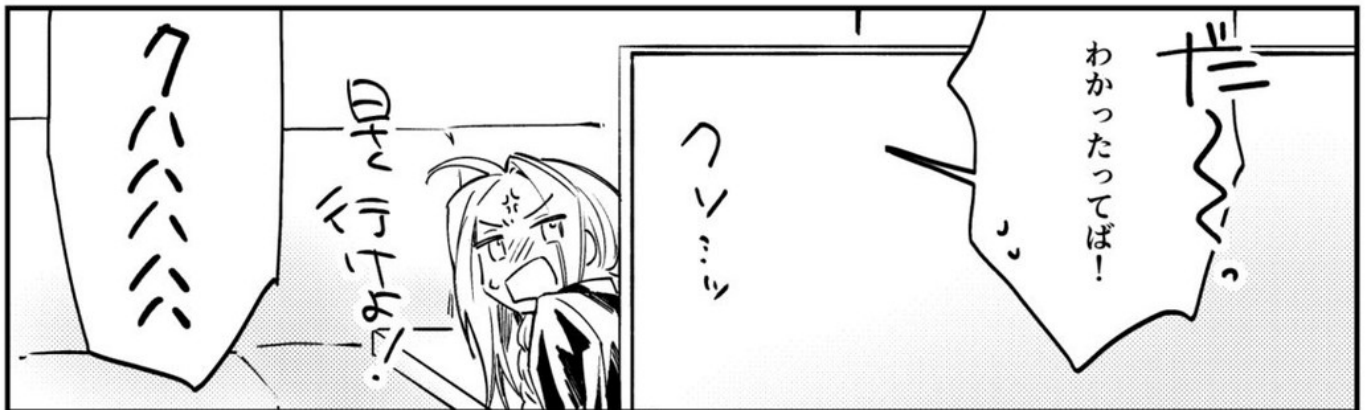
……知ってるよ！

お前の気持ちも
知っていることも

すべてな

ならいいが

ガ
タ
ン



バース性

二次性徴とともに
第二の性も一緒に
定まるのが一般的と
される

しかしごくまれに
ある日突然、バース性が
変化することがある。

突発性性徴変異——…

サリエリもまた

その一人だ



突発性バース性の
変異の場合――

何がしかの
きっかけがあることが
ほとんどだな

きっかけ？

たとえば本人の
価値観が丸ごと
変ってしまうような…
運命に出会う、とか

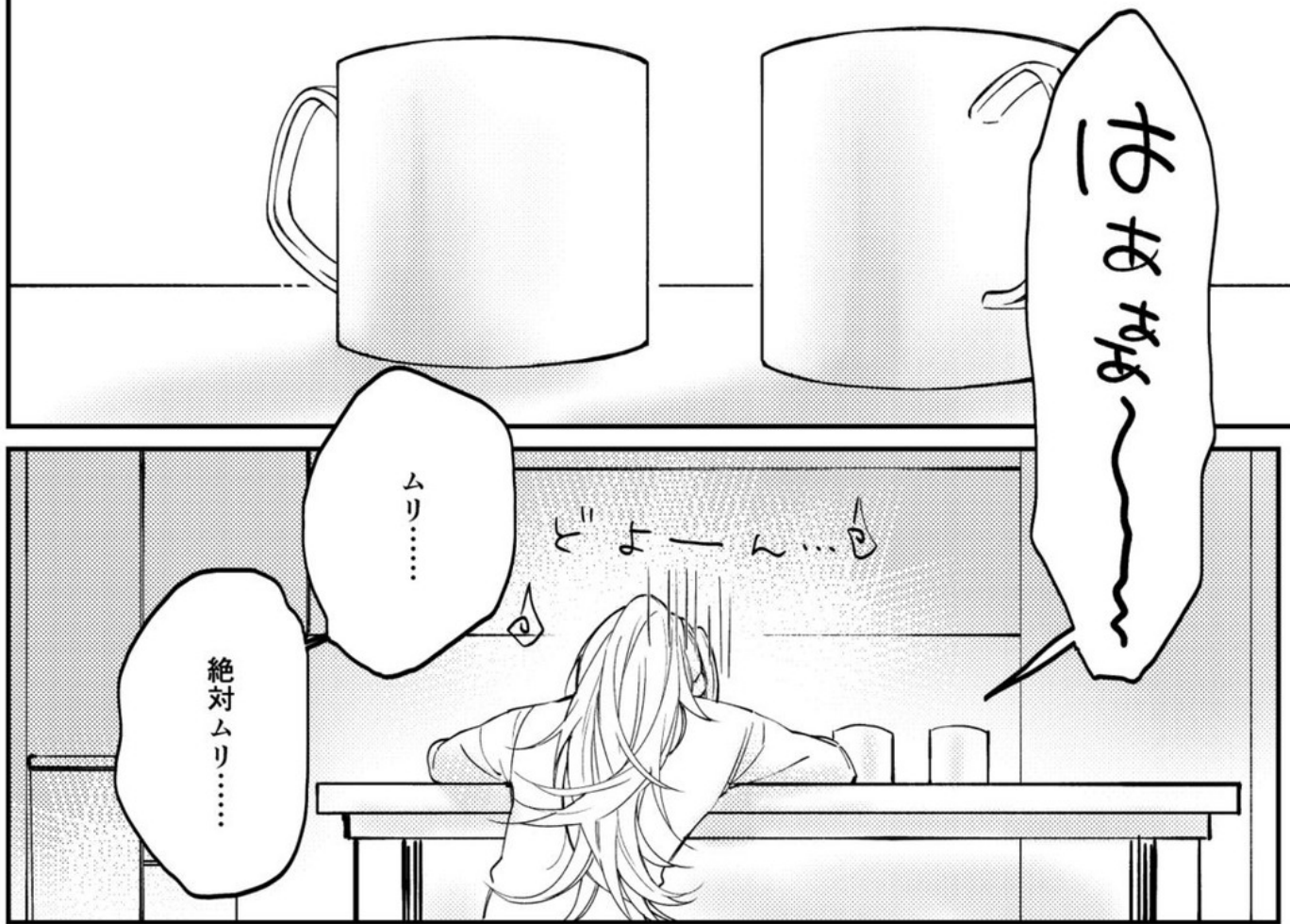
運命……

サリエリが、運命と……
でも、それは……

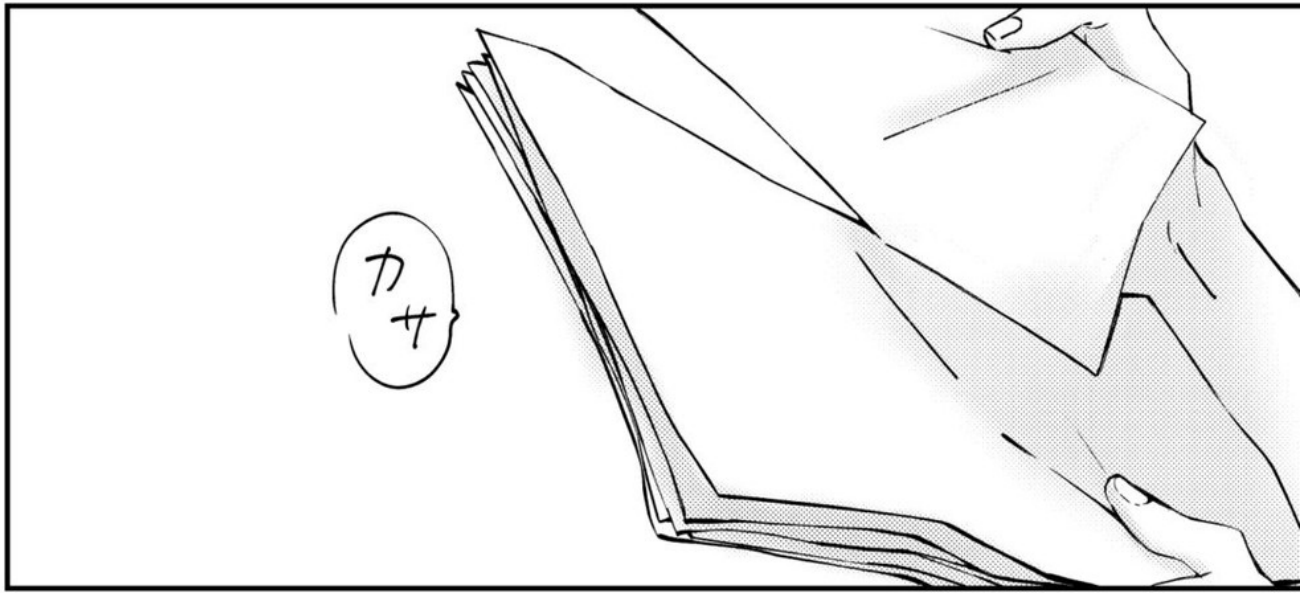
もちろん

サリエリ氏が
“運命”に出会ったか
どうかはわからないが

僕じゃない……











私はお前の
音に……

びくっ

.....っ!



音楽だけ?

ねえサリエリ
僕のことは?



僕は……?

あま……







君は運命とまだ
番になってない
だから今なら、僕は――

ちがう……っ



……？

運命じゃない……？

どういふこと？
運命と出会ったんじゃ



運命なんかじゃ……
ない……



確かに私は
 α だった

あの日――
コンクールで
あの音に触れるまでは……

だが……



あれを…あの音を
運命だなどと……！

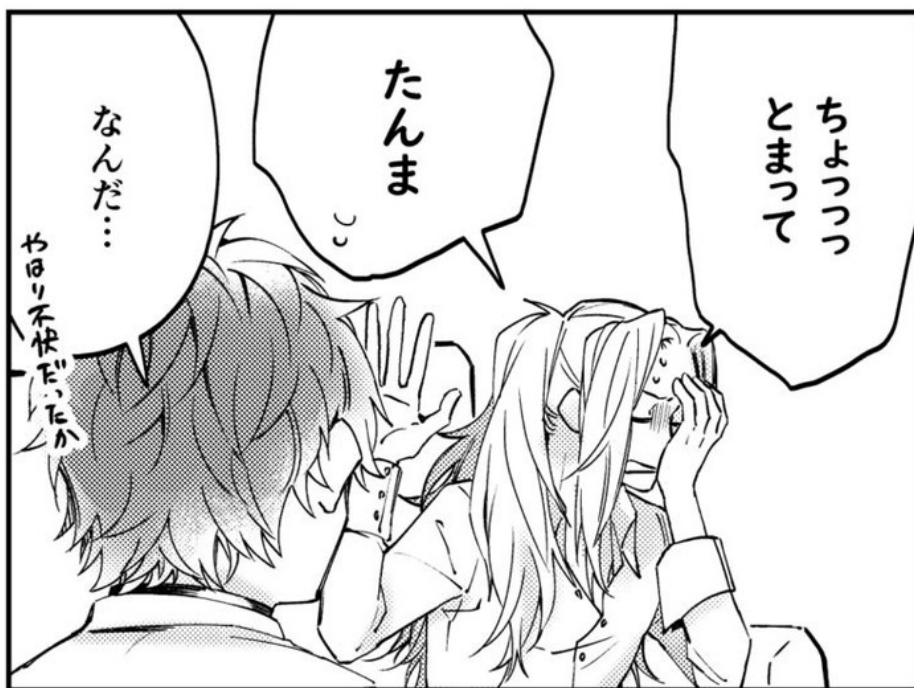
たった一音で
私の全て

魂を根本から浚っていった
お前の音楽を

そんな言葉ひとつで
片付けたくなかった

許してくれ
あのとき初めてお前の
音楽を聴いたときから

私は私のものでは
なくなったのだ…



ちよつと
とまって

たんま

なんだ…

やはり不快だったか



ちよつ



いまの、
もっかい
言って…

は？
たった一音で
私の全て…

ちがうちがう！
そのあと！
その次！



あのとき初めてお前の
音楽を聴いたときから……？

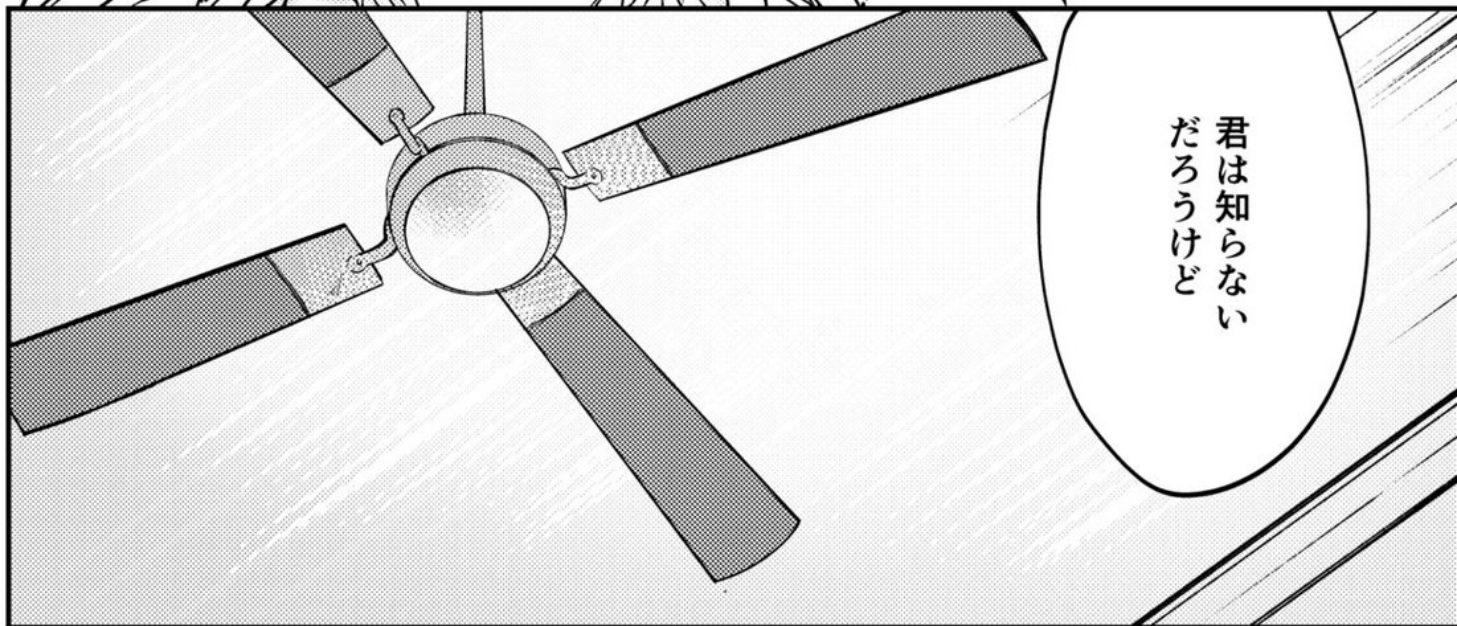
何なんだ…

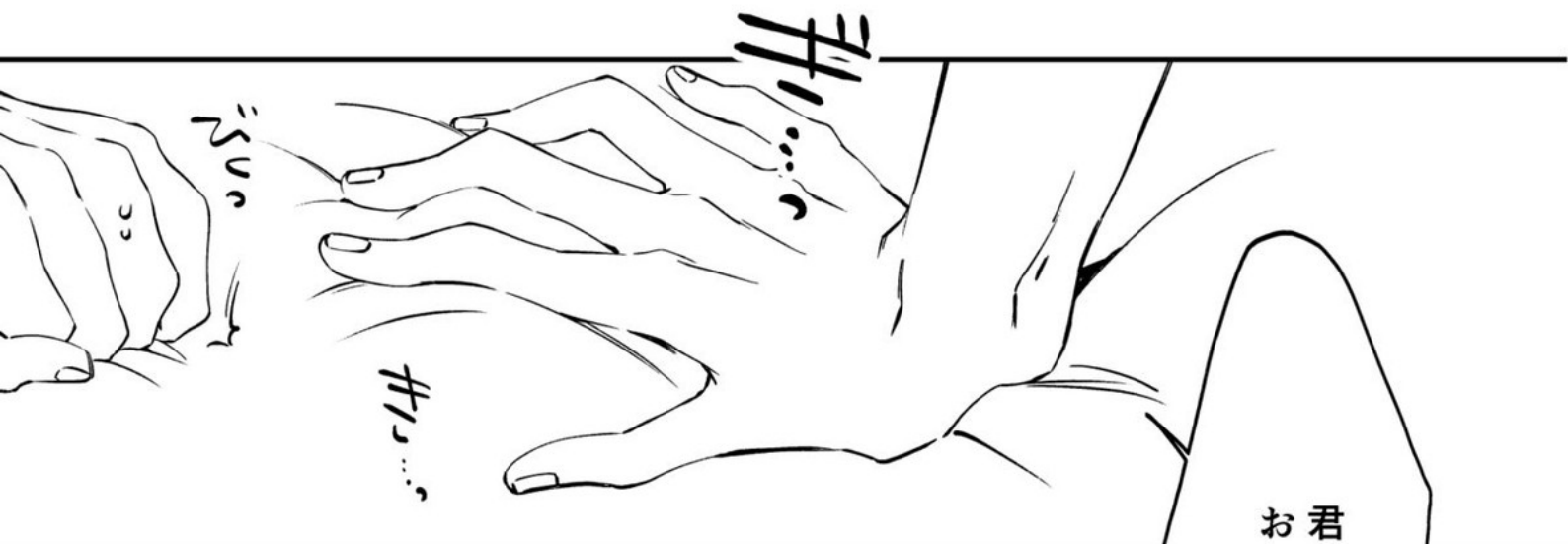
それ！！

それってさ…

つまり

君が出会った
“運命”って…
僕……？





君のところに
おしかけたも



パトロン居なくなつて
困つてたのも



嘘じゃないけど

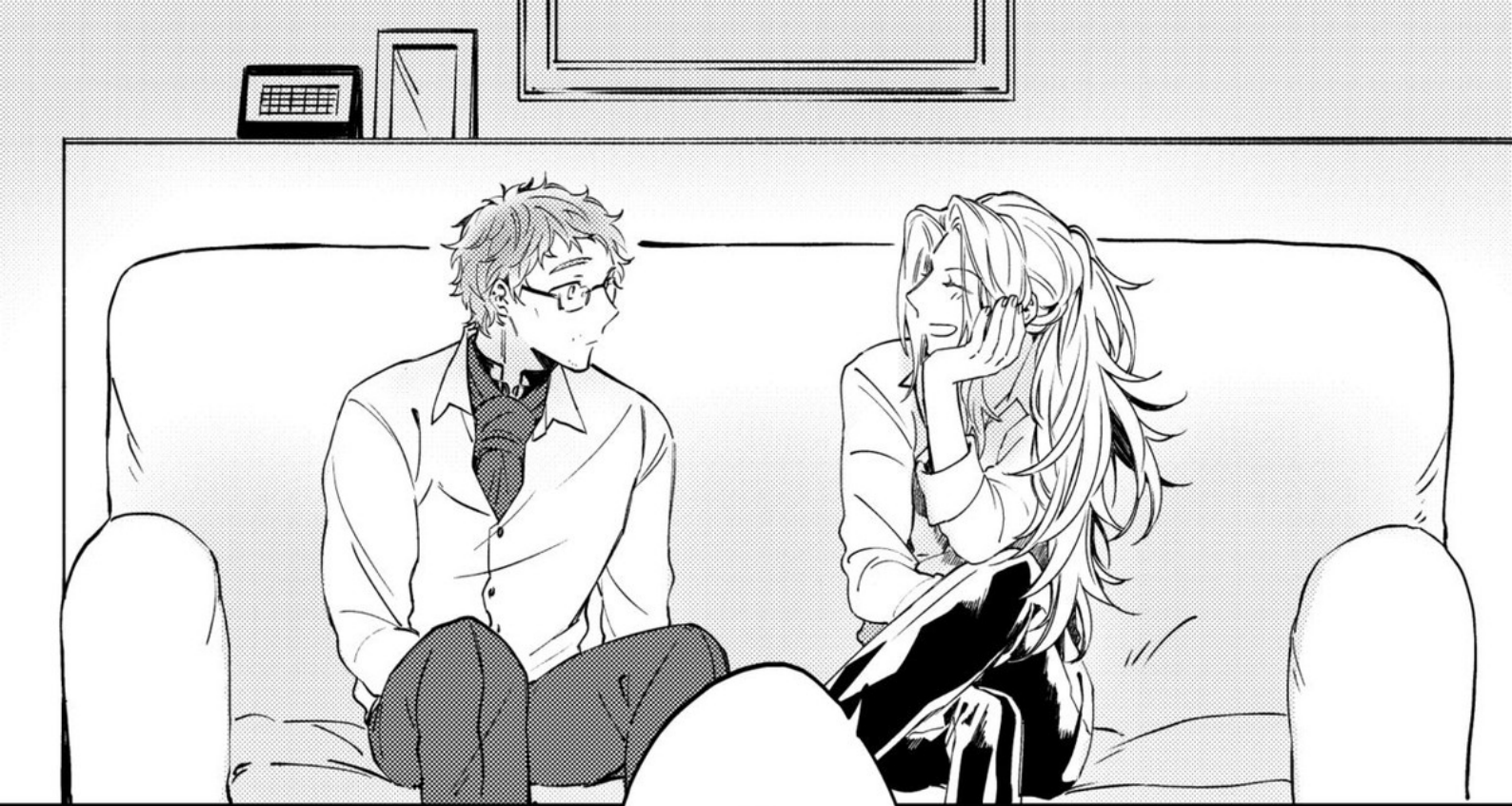
全部わざと
なんだぜ





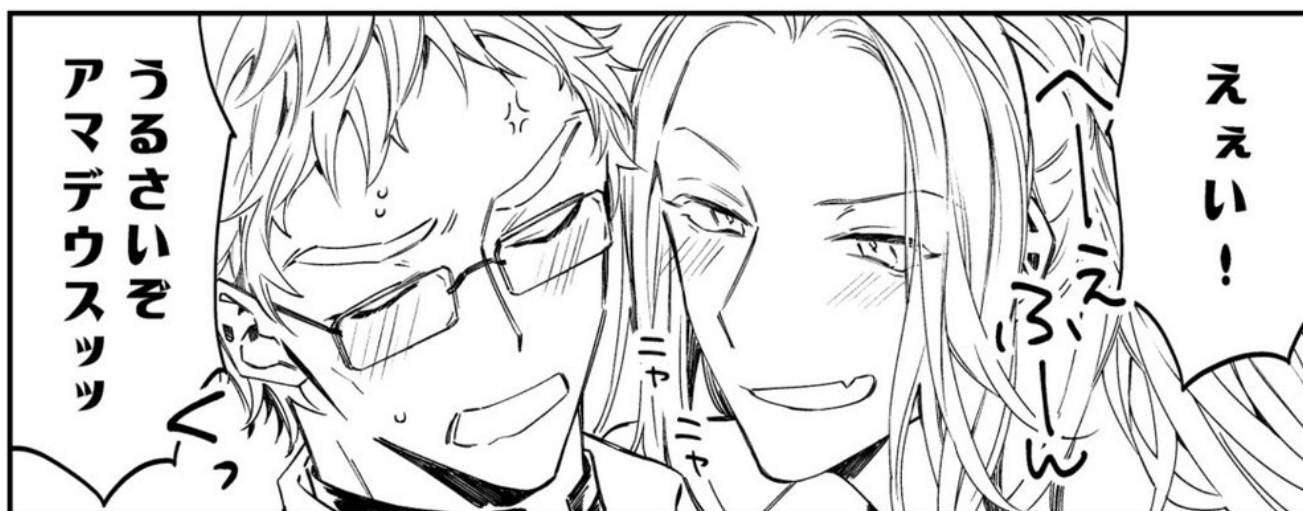
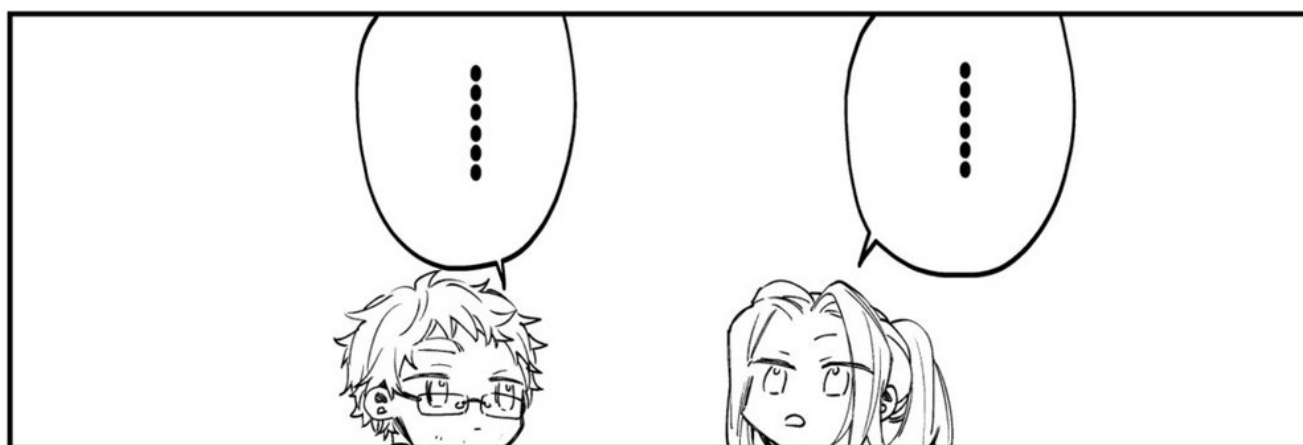






二五十年以上前からね！





発行日 : 2019/05/03
印刷所 : くりえい社様

lux-coeli
ばぶ

Twitter : MksH_32
pixiv : 11814730
サイト : <http://mccoli.html.xdomain.jp/>
メール : mccoli32ksh@gmail.com